

# 学校通信

# けやき小

## 教育目標 確かな一歩



令和 6年 1月 9日  
西東京市立けやき小学校



e-mail [e-keyaki@nishitokyo.ed.jp](mailto:e-keyaki@nishitokyo.ed.jp)

## 「縦の笑い」と「横の笑い」

校長 五十嵐 誠一

新しい年が始まりました。保護者、地域の皆様には新年をお健やかに迎えのとお慶び申し上げます。教職員一同、新しい年が子どもたちにとって笑顔にあふれたものになりますように力を尽くしてまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて「笑う門には福来たる」の言葉がありますが、笑いは私たちの生活に潤いを与え、人生を豊かにするために不可欠なものです。この笑いですが、「縦の笑い」と「横の笑い」の2種類があるそうです。「縦の笑い」とは他人を見下して笑う「嘲笑」や弱い者が強い者を皮肉「風刺」を指します。これは笑いの中でも人をあまり幸せにすることのない類いのものではないでしょうか。これに対するのは「横の笑い」です。これはどんな笑いでしょう。

テレビなどでもおなじみの狂言師、野村萬齋さんがある広報誌に狂言についての文章を寄せられていました。すてきな文章なので少し引用させていただこうと思います。

『狂言の多くは「この辺りの者でござる」と言う第一声で始まります。このセリフは、場所や時代に関係なく「あなたも私もこの辺りの人たち」という、その場にいる全員がフラットな関係であることを示唆してします。したがって、登場人物はどこにでもいる人たちで、描かれている出来事も、小さな嘘に人々が翻弄されたり、お酒に酔って失敗するなど現代にも共通する日常の一コマであることがほとんどです。狂言とは、そうした出来事を笑い飛ばし、「人間って滑稽で憎めないよ

ね」とか「人間って悪くないよね」といった境地に導いてくれる「人間賛歌の舞台」だと僕は考えています。』

(公立学校共済組合東京支部広報誌かがやきより)

ここで萬齋さんが語られているような笑い、それが「横の笑い」ではないかと思えます。つまり、人間には悪い奴もずるい奴もいる。その悪やずるさは考えてみれば自分にもある。それをお互いに認めて「なあんだ、あんたもそうなのか。実はおれもそうなんだよ」と笑い合う、これが「横の笑い」です。フラットな関係性をもつ横の笑いはお互いを尊いものと認め合い大切にする事の表れでもあります。この横の笑い、落語などにもよく出てきますね。

縦の笑いばかりあるところはいくら笑いがあってもリラックスできませんし、楽しい時間を過ごせる場所にはなりません。反対に横の笑いがある場所では誰もが自分を素直にさらけ出すことができます。逆に言いますと、本当に心を許しあう、信頼できる仲間の中でのしか「横の笑い」は生まれてこないのです。そして、「横の笑い」のあるところでは、一人一人がお互いを認め合う中で成長していくことができるのだと思えます。

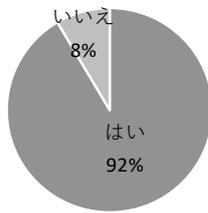
新しい年、私たちの学校も、教室も、安心して自分を出せる「横の笑い」がたくさんある場所にしていければと思います。

# 児童アンケート集計結果

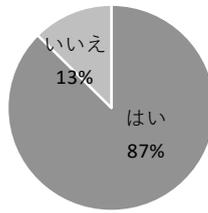
令和5年12月実施 回答率

93%

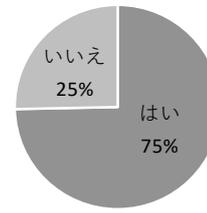
学校の授業は楽しく、わかりやすいですか。



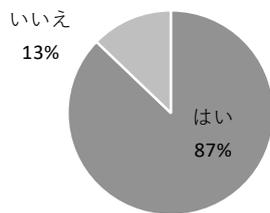
必要な場面ではタブレットを使えますか。



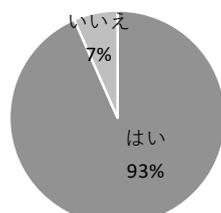
生活の中で本を読む習慣がありますか。



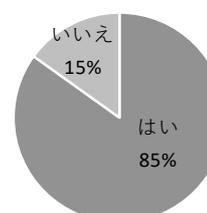
家や学童で、宿題などの学習を毎日していますか。



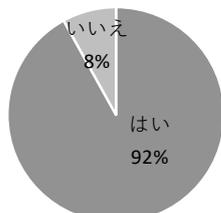
友達をいじめない、いじめを見て見ないふりをしないという  
ことができますか。



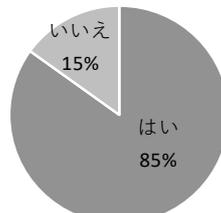
チャイムを守る、友達を呼び捨てにしないなど、ルールや決  
まりを守って生活していますか。



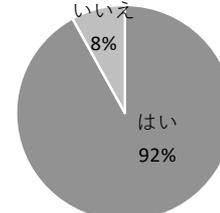
友達や先生、外から来たお客様などに、進んであいさ  
つをしていますか。



体力をつけたり、健康に過ごすために運動(体を動かす)をして  
いますか。



心配ごとがあった時など、先生方ははてねいに相談にのって  
くれますか。



## <児童アンケート>

- ・タブレットの活用については、肯定的な回答をしている児童が前回（7月）の7割から今回（12月）は8割と増えている。今後も有効な活用を心がけていきたい。
- ・いじめについての設問では、肯定的な回答が前回の8割から増えて9割を超えた。今後も学級指導や道徳の授業を通して、全ての児童が安心して学校生活を送れるよう指導の徹底を図っていく。
- ・進んで挨拶をしている児童も前回の8割から増えて9割を超えた。今後も友だち同士、来校者への挨拶なども進んでできるように、声かけをしていく。
- ・「先生方は相談にのってくれる」に関しても、前回の8割から増えて9割を超えた。今後も丁寧に対応していく。

## <保護者アンケート>

- ・「けじめのある生活」や「教職員の対応」については、今回も肯定的な回答が9割と高い。
- ・ICT機器の活用については、前回（7月）よりも増えたものの肯定的な回答が6割弱である。授業での使用ルールも含め、より一層学習への活用を進めていくとともに、家庭でのSNSルールの構築を保護者の皆様と協力して行っていく。
- ・いじめ、人権問題についての肯定的意見は5割から6割と増えた。「分からない」との回答は3割から2割となったが、引き続き、ご家庭との連携を深めていくことを心掛けていく。
- ・中学や地域との連携した取り組みについては、依然として「分からない」の割合が4割近くと多い。中学校や地域との連携について、さらに情報提供を行っていくようにしたい。

# 保護者アンケート集計結果

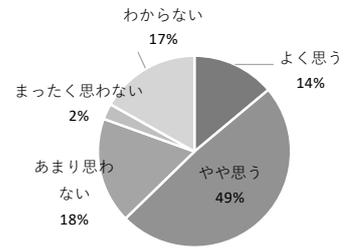
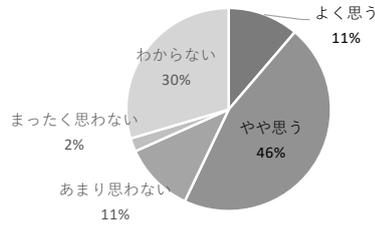
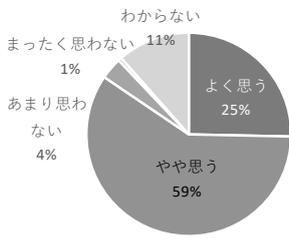
令和5年12月実施 回答率

71%

子どもにとってわかりやすく、学びのある授業が行われている。

授業でデジタル教科書やタブレット等のICT機器が有効に使われている。

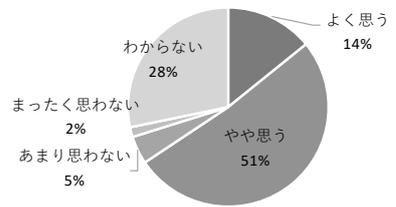
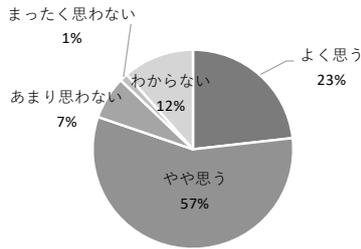
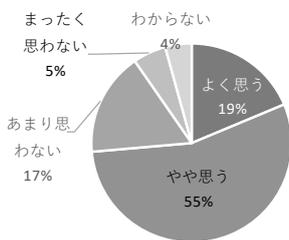
子どもが読書週間に身につける指導が行われている。



子どもは家庭学習の習慣が身に付いてきている。

特色ある教育活動が行われ、学校行事が充実している。

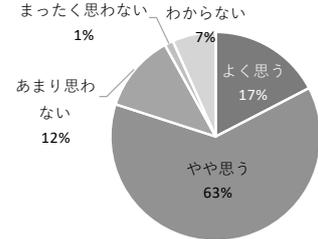
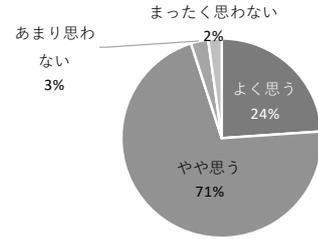
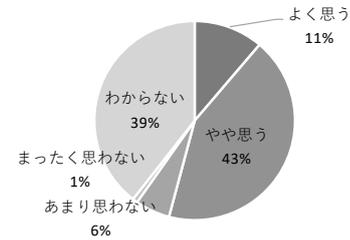
いじめや人権問題に対する指導が行われている。



中学や地域と連携した子どもの健全育成の取組が行われている。

学校では決まりにそったけじめある生活がなされている。

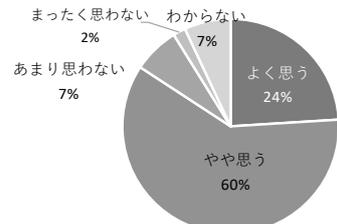
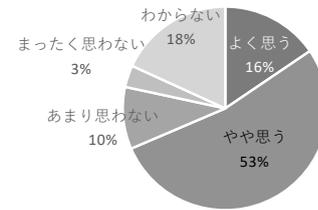
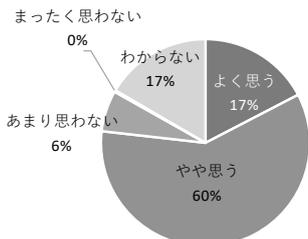
子どもは場に応じた挨拶ができるようになっている。



子どもの健康や体力増進のための取組みが行われている。

子ども一人一人に対応した指導が行われている。

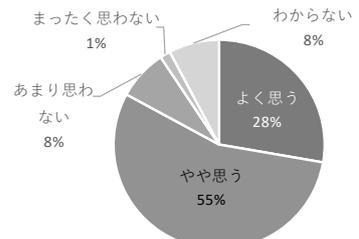
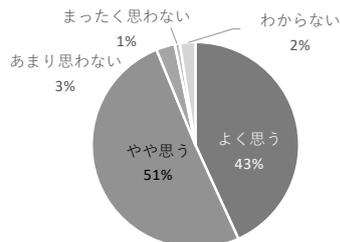
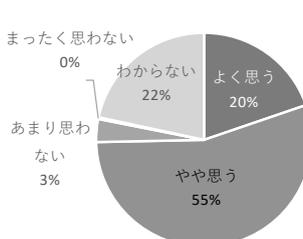
学校は全体としておちついて、好ましい印象を受ける。



施設・設備の安全対策や事故防止に取り組んでいる。

教職員の対応は丁寧で、誠実に相談等に応じている。

教育方針、日常の様子等、必要な情報発信がなされている。



# 1月の行事予定

今月の生活目標 **元気に外で遊ぼう**

8時15分～8時25分 登校

1月			
1 (月)	元日	17 (水)	全校朝会 1年発育測定 校内書き初め展 保護者鑑賞日①10:45-11:30(1年)13:00-14:05(2～6年) 授業参観4校時(1年)5校時(2～6年)14:15下校
2 (火)	振替休日	18 (木)	校内書き初め展 保護者鑑賞日②13:40-15:15 授業参観5校時
3 (水)		19 (金)	学校運営協議会 校内書き初め展 保護者鑑賞日③13:40-15:15 授業参観5校時 6年薬物乱用防止教室
4 (木)		20 (土)	
5 (金)	冬季休業日終	21 (日)	
6 (土)		22 (月)	
7 (日)		23 (火)	SC
8 (月)	成人の日	24 (水)	全校朝会 避難訓練 クラブ活動
9 (火)	始業式 健康週間始 全学年4時間授業12:25下校 SC	25 (木)	縦割り班活動
10 (水)	安全指導日 給食始 6年発育測定 委員会活動5・6年生15:05下校	26 (金)	避難訓練 全学年特別時程4時間授業13:00下校
11 (木)	5年発育測定	27 (土)	
12 (金)	健康週間終 4年発育測定 5年音楽鑑賞教室	28 (日)	
13 (土)		29 (月)	4年箏体験教室
14 (日)	「どんど焼き」(育成会)	30 (火)	SC
15 (月)	けやき教室通室始 3年発育測定	31 (水)	全校朝会 4年国際交流授業 委員会活動5・6年生15:05下校
16 (火)	2年発育測定 SC		(SC: スクールカウンセラーの来校日)

## けやき小学校に新しくうさぎが来ました

育成会「にしはら」より、新しくうさぎを寄付していただきました。

2023年8月5日生まれのオスの日本白色種という種類です。

まずは名前を決めようと、飼育委員会で名前の候補を決め、各クラスで投票を行い、「大福(だいふく)」に決まりました。

先輩うさぎの「チョコ」と比べると、身体も大きく、エサももりもり食べてどんどん大きくなり、元気いっぱいです。

しばらくは校舎棟の3階の屋上庭園で飼育をする予定です。たくさんのお子どもたちにふれあってもらいたいと考えています。「大福(だいふく)くん」を今後ともよろしくお祈りします。